



株式会社沖縄銀行
頭取 安里 昌利

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては良き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は弊行に対し、格別なご愛顧、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の国内経済は、設備投資の減

少や所得・雇用環境が大変厳しい状況にあるなか、経済対策の効果により個人消費の持ち直しの動きやアジア向けの輸出増加などから全体としては持ち直してきたと言えますが、依然として高い失業率など自律回復の乏しい一年でした。

一方、県内景況はといいますと個人消費や建設関連については、前年同期比において伸びが見られました。観光関連が長引く景気低迷に加え、新型インフルエンザの影響から入域観光客数が伸び悩み、雇用対策の効果も限定的で総じて業況の弱さが見られました。

このような環境のもと、弊行では、

を取戻しつつありましたが、株価の反応は弱く、「円高の進行」による輸出企業への影響が懸念される中で、年後半には政府が「デフレ宣言」するなど、国内景気は依然厳しい状況にありました。

県内景気をみても、長引く不況の影響による旅行需要の冷え込みや、新型インフルエンザの感染拡大などから、入域観光客数の前年割れが毎月のように続くなど観光業界の不振は関連する各業界へも大きな影響を与え、今後も県経済の柱である観光への影響を注視していかなければなりません。

雇用情勢についても、失業率・有効求人倍率など引き続き厳しい環境となりました。そのような環境下、当行は昨年五月一日におかげ様で創業六〇周年を迎える事ができました。これもひとえに株主の皆様のご支援や、多くのお取引先のご愛顧、更に

平成二十一年四月からの二年間を計画期間とする「中期経営計画二〇〇九〜二〇一〇」を実践中です。歴史的な大激動期を迎えた現環境において変化へ機動的に対応する「SPED経営」と強靱な営業基盤を一步ずつ固める「着実な戦略」STEADY戦略」を展開していくという意味を込め、タイトルを「SPED & STEADY」と名づけ、県内中小企業の皆様とのSR活動（ストロング・リレーション活動）を進展させるべく取り組んでおります。

昨年に引き続き、原材料価格高騰対応等緊急保証制度などのセーフティネット関連融資の取組み強化を継続し、既存及び新規取引先企業の皆

は地域の皆様方の永年にわたるご支援の賜と改めて深く感謝を申し上げます。

感謝の心でこれからも 地域と共にこれからもをキャッチフレーズに全ての関係者に対し「感謝の気持ち」を伝えてきました。周年事業として、お客様へは記念品の配布や記念講演会を開催、株主の皆様へは記念配当を決定した他、これからも地域に愛され選ばれる銀行であるために「CS沖縄一」を目指した取組みを始めた一年でした。

おかげ様で当行の昨年九月（中間決算）の業績は、経常利益が大幅に増加したことから増収・増益（連結）となりました。引き続き三月期においても好決算となる事が確実な状況にあります。二〇一〇年の取組みについては、これまで以上にお客さまとのリレーション強化に努め、「中小企業等

様の資金ニーズを的確に捉え、必要な事業資金を円滑に供給していきたいと考えております。

本年も「地域密着・地域貢献」の経営理念の下、皆様に信頼される「ピブルズ・バンク」の実践に向け、真心と感謝を込めて、役員員一丸となつて取り組んで参る所存でございます。新年を向かえ、皆様のご多幸とご繁栄を心より祈念申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

平成二十二年 元旦

を強力にサポート」していく事に重点を置いた諸施策を展開していきます。具体的な取組みとしては、①資金仲介機能を積極的に推し進める、②ビジネスマッチング等への取組みを強化する、③地元の環境・素材等、地域資源を活用した成長分野や新産業への支援を展開していくなどになります。また、そうしたサービスを提供できる人材の育成にも積極的に努めていきます。

これからも地域密着に徹し、地域社会の発展に貢献できるよう、役員員一丸となつて努力していきます。

結びとなりましたが、本年も皆様にとつて実り多い飛躍の年となりますよう祈念いたしますとともに、引き続き格別のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



株式会社沖縄海邦銀行
頭取 嘉手納 成達

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の国内景気は二〇〇八年の「一〇〇年に一度」と形容された世界的金融不安等からの回復を図るべく、政府が打出した各種経済対策効果などにより、落ち着き